



**三重県立紀南高等学校
学校設定科目「東紀州学」
学習の記録**





道の駅紀宝町ウミガメ公園について



学習内容

- ・ ウミガメ公園での体験学習
(ウミガメ公園 石本社長／伊藤飼育員)
- ・ デザインについての出前講義
(和光大学 芸術学科 半田滋男教授)
- ・ 写真についての出前講義
(東京工芸大学 芸術学部写真学科 田中仁教授)
- ・ ポスター作成ワークショップ
(salt graphic 塩崎哲史先生)
- ・ ポスター作成

ウミガメ公園の魅力を発信するポスター作成を行いました。そのために、ウミガメの生態や、ウミガメ公園の理念を知ることからスタートしました。ポスター作成にあたっては、大学教授からオンラインで出前講義をしてもらったり、地元出身のデザイナーさんに協力してもらったりしながら取り組みました。



道の駅 紀宝町

ウミガメ公園



かわいい姿に
癒される！

おいしい食べ物や
可愛いぬいぐるみも
売ってるよ～

いつも焼き立て！
おいしいよ！

暑い夏に
ピッタリ！

道の駅 紀宝町ウミガメ公園

〒519-5711

三重県南牟婁郡紀宝町井田568-7

TEL : 0735-33-0300

Facebook更新中



ポスター作製：三重県立紀南高等学校 東紀州学選択生

学んだこと

ウミガメに関する基礎的な知識や、ウミガメ公園の役割について知ることができました。生まれてからずっとこの地域に住んでいたのにも関わらず初めて知ることがたくさんありました。

また、ポスター作成の手法についての新しい知識も身につけることができました。

ポスター作りで苦労したこと

ポスターを作成前に行った「ラフデザインを考える」という作業が一番苦労しました。どのようなポスターにしたらウミガメに興味がない人にもウミガメ公園を知ってもらえるか、ウミガメの魅力を感じてもらえるか、どんなポスターが目を引きやすいか等を考えながら作るのが大変でした。

ラフデザインを考えたのにも関わらず、実際に作成していくと「必要な写真が足りない」という事態が生じました。「構成をあらかじめ入念に考えておいたうえで、その構成に必要な写真を撮ることが大切」ということを痛感しました。

加えて、少ない文字数でウミガメ公園の魅力伝えるのはとても難しかったです。



紀州犬について



学習内容

- ・ 阪本地区フィールドワーク
- ・ 紀州犬に関する文献研究
- ・ デザインについての出前講義
(和光大学 芸術学科 半田滋男教授)
- ・ 写真についての出前講義
(東京工芸大学 芸術学部写真学科 田中仁教授)
- ・ ポスター作成ワークショップ
(salt graphic 塩崎哲史先生)
- ・ ポスター作成

東紀州学では、約10年間にわたって紀州犬に関する学習を行ってきました。そのため、先輩方が調査・収集してくださった資料が多数存在しました。それらの先行研究をもとに、まずは、紀州犬の魅力について再整理しました。そして、ウミガメチームとともにポスター作成の技法を学び、紀州犬の力強さを引き出すことに重きを置いて学習を進めました。



紀南高校とは
ずっと昔から
付き合いを
しているワン!





紀州犬とは“狼”の血を引いているとされる犬種。
獵犬、番犬、ペットとしても育てやすい。
そして、希少種である。見た目は凛々しく強い骨格を
持っている。飼い主に忠実で、とても優秀。



紀州犬の詳細は
こちらから
(紀州高校HP)

三重県立紀南高等学校 東紀州学履修生作成

学んだこと

私が紀州犬に対して抱いていたイメージは「警戒心が強く近寄りがたい」というものでした。しかし、実際に会ってみると、たしかに凛々しく力強い骨格ではありましたが、初対面でも自分の弱点でもあるお腹を見せ撫でさせてくれ、噛みつく様子も一切ないほど、とても人懐っこかったです。小さい頃からきちんとしつければ、飼い主に忠実なのでとても育てやすく、最近では、ペットとしての可能性も広がりつつあるということ学びました。

しかし、飼っている人が減少していけば、紀州犬の数も少なくなる可能性があります。「もっと紀州犬の存在を広めていきたい!」という気持ちを持ってポスター作成に取り組みました。

ポスター作りで苦勞したこと

ポスターを見てもらえるよう、全体的な見やすさや、文字のフォントや色に気を遣うのが大変でした。特に、「紀州犬の写真を大々的に置く」ということと、「文字などが見にくくならないようにする」ということの両立に時間がかかりました。



熊野古道について



学習内容

- ・フィールドワーク／文献研究
- ・講演 ー熊野古道の概要ー
(熊野古道センター 宮本秀男さま)
- ・講演 ー熊野古道伊勢路と世界遺産登録までの歩み／名所図会に見る熊野古道伊勢路の風景ー
(熊野市文化財専門委員長 三石学さま)
- ・プレゼンテーション発表

私たちのグループは、熊野古道を中心とした地域活性について検討しました。メンバー全員が熊野市出身で、小さい頃から熊野古道に慣れ親しんできたにも関わらず、学習を進めていくと「知れば知るほど分らなくなる」という状態に陥りました。熊野古道の奥深さを知ることができただけでも、東紀州学を履修して良かったなと思いました。



まとめ - 私たちが考えたこと

	魅力発信 フィルムツーリズム SNS / YouTube	交通網の整備 紀伊半島一周高速道路(決定) バスやタクシーの整備
観光客	「理解度」がアップ↑	観光しやすい🚌
地元の人	東紀州を好きになる👏	生活しやすい🏠



熊野市の活性化!!

授業を振り返って

東紀州学では、高校がある御浜町については勿論、紀宝町のウミガメ公園から熊野市の熊野古道まで幅広く学べました。

実際にウミガメ公園に足を運んだり、紀州犬と触れあったりしながら、学習を進めていきました。ウミガメ公園では、ウミガメの魅力を目の前で感じ取ることができました。紀州犬は人懐っこいので、犬と触れ合うのが苦手だった私でも触ることができました。ウミガメも紀州犬も、非常に可愛らしくて、貴重な体験をさせてもらったなと思いました。

また、ポスターやプレゼンテーション資料作成を通じて、デザインやカメラについての基礎知識も習得できました。就職後も、東紀州学で学んだ知識や技術を活かしていきたいです。

東紀州学を履修して、自分が生まれ育ってきた地域についての理解を深めることができ、本当に良かったです。



この授業は、地域への理解を深め、課題を発見し解決していかうという姿勢を身につけることを目的としています。また、同時に地域を誇りに思う心を育て、地域の方とのコミュニケーションを重ねることにより、生徒一人ひとりの自己有用感を醸成することも目的としています。

この授業を実施するにあたりたくさんの方々にご協力いただいております。